

大王グループの歩み

大王グループは、地球環境を守りながらお客さまの声に耳を傾けたものづくりに取り組んでいます。社会や市場の変化を敏感にとらえ、迅速な意思決定と「エリエール」ブランドで衛生用紙市場参入後7～9年でシェアNo.1を達成したような実行力を基に、活躍のフィールドを国内外に展開しながら成長を続けています。

1943-1977 設立～事業基盤の確立

1978-2001 総合製紙メーカーとして飛躍

2002- 活躍のフィールドを世界へ/持続可能な社会に貢献

■ 紙・板紙事業 ■ H&PC国内事業 ■ H&PC海外事業 ■ その他事業

1943 創業

和紙の生産・販売を目的に創業後、1947年に新聞用紙と産業用紙(板紙・包装用紙)の生産を開始

1950 新聞用紙市場へ本格参入

1954 未晒パルプ
1955 晒クラフトパルプ
製造開始

1957 山林を購入し育苗造林を開始

日本初!

1957 クラフトライナーの製造を開始

1967 北米チップ専用船第1号「大王丸」就航



1975 営業本部設置
総合製紙メーカーへの独自の販売体制構築

1978 洋紙事業へ本格参入

1979 衛生用紙市場参入



ティッシュペーパー
トイレットペーパー

シェア No.1

1986 1988

1980 ベビー用紙おむつ製造・販売開始



1982 生理用ナプキン製造・販売開始



1989 持続可能な森林経営を目指してチリにフォレストル・アンチレ社を設立、植林事業を開始

2002 「GOO.N」ブランド販売開始



1998 古紙100%の新聞用紙生産・販売開始

業界初!

1993 DAIO地球環境憲章制定(2018年改定)

製紙業界で最も早く!

2007 米国P&Gから「アテント」事業を譲受



2020 不織布マスクの国内生産を開始



2004 バイオマスボイラー完成・稼働

2021 大王グループサステナビリティ・ビジョン策定

2022 製造残渣を紙の原料として再利用するシステム「Rems(リムス)」を開始



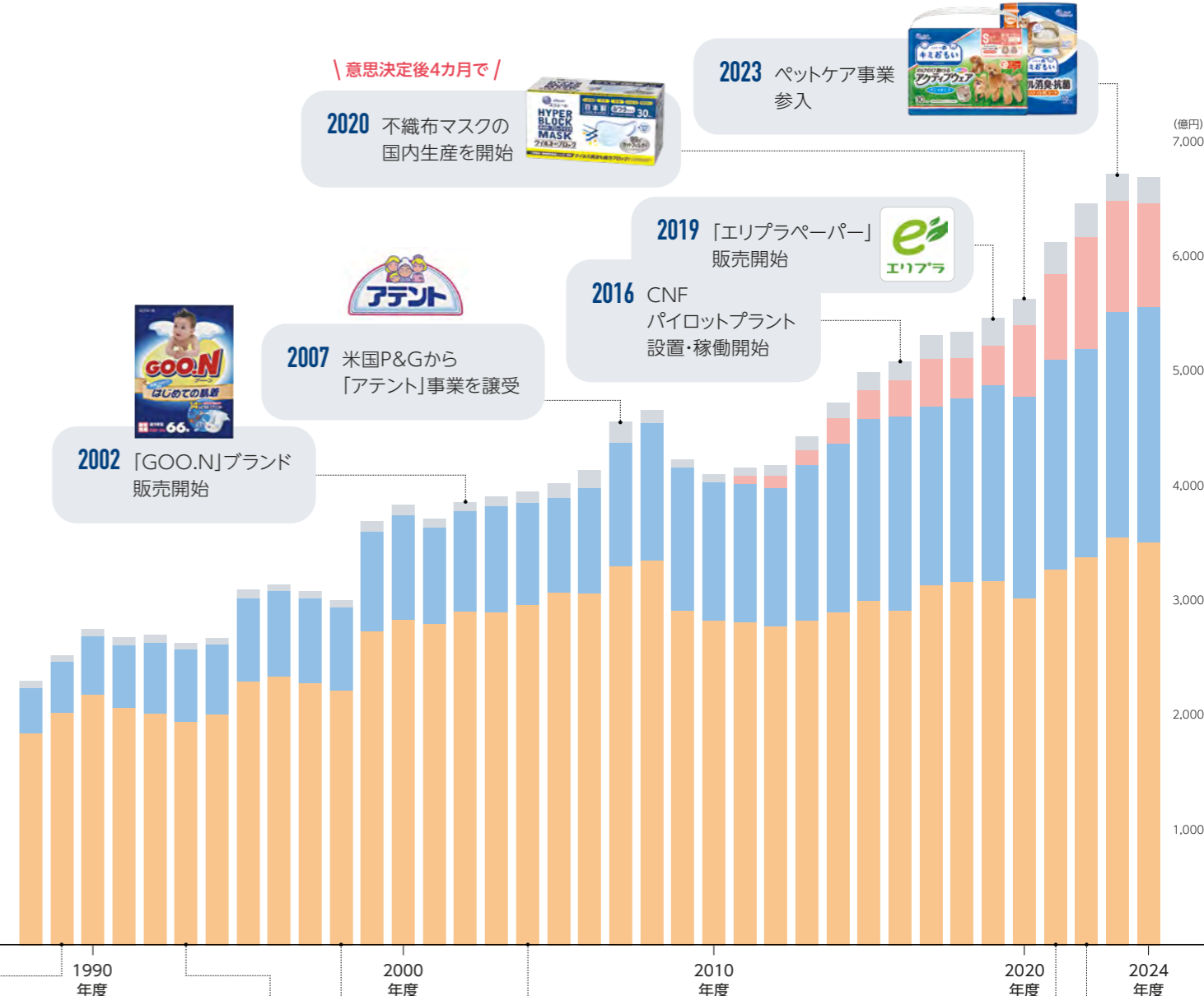
約59,000ha所有
約28,000haは天然林・保護林

2023 ペットケア事業参入



2016 CNFパイロットプラント設置・稼働開始

2019 「エリプラペーパー」販売開始



At a Glance

大王グループは、新聞用紙・印刷用紙・包装用紙といった紙製品、ティシューペーパーやトイレトペーパーなどの衛生用紙、ベビー用・大人用紙おむつ、生理用ナプキンなどの日用品を製造・販売しています。

事業概要

ホーム&パーソナルケア事業

ティシューペーパー、トイレトペーパーなどの衛生用紙、ベビー用および大人用紙おむつ、生理用ナプキン、ウエットティシュー他を生産・販売。ファミリーケア、ハウスホールドケア、ベビーケア、フェミニンケア、ヘルスケア、ペットケアの6カテゴリーを中心に商品を展開

主な商品



紙・板紙事業

新聞用紙、印刷用紙・出版用紙、情報用紙、包装用紙、板紙・段ボール商品、パルプ他を生産・販売。脱プラスチック・減プラスチックに貢献する紙製の包材商品「エリプラシリーズ」や、製造残渣を活用した混抄紙システム「Rems」も展開

主な商品



新素材領域

木質由来の素材であるセルローズナノファイバーやバイオリファイナリーの用途を開発

主な商品



その他事業

植林、環境関連設備のエンジニアリング、スポーツクラブ・ゴルフ場運営、運輸など

主な子会社



有形・無形のさまざまな資産を活用しながら事業を展開し、持続的に成長するとともにステークホルダーの皆さまに価値を提供しています。

2024年度 業績概況 (連結)

[売上高] **6,689億円**

[営業利益] **98億円**

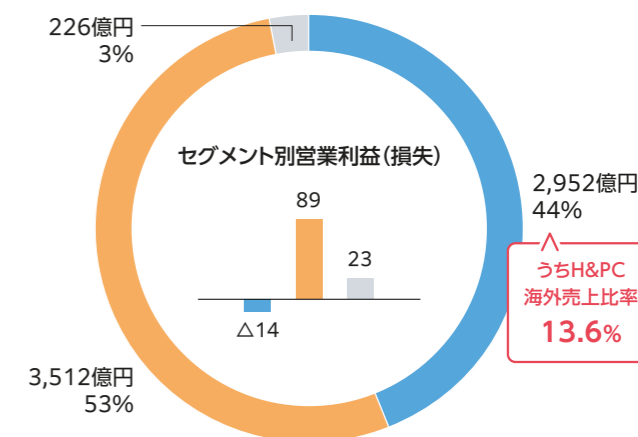
[営業利益率] **1.5%**

[経常利益] **45億円**

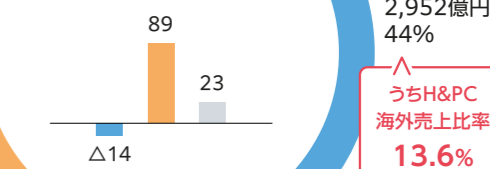
親会社株主に帰属する
[当期純利益] **△112億円**

セグメント別売上高構成比

■ H&PC事業 ■ 紙・板紙事業 ■ その他事業



セグメント別営業利益(損失)



うちH&PC
海外売上比率
13.6%

非財務情報



※ 出典：インテージSRI+ 2024年4月～2025年3月メーカー別累計販売金額(ティシューペーパー、トイレトペーパー、キッチンタオル)
※ 事業拠点は2025年8月31日時点

大王グループの価値創造

「誠意と熱意」をもって「3つの生きる」を成し遂げ
「やさしい未来」を実現する

経営理念 世界中の人々へ やさしい未来をつむぐ



木からものを取り出す技術とリサイクル技術を強みに
衛生・人生・再生につながる価値を創造する 大王グループの強み >> P31-32

ビジョン
「3つの生きる」

投入資本
>> P29

強み

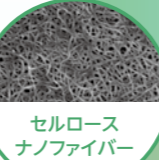
経営基盤増強に向けたマテリアリティ

事業ポートフォリオの戦略的変革 | グローバル展開の加速 | 新規事業の創出

木からもの
を取り出す技術



衛生用紙・
パーソナルケア
商品



セルロース
ナノファイバー



スポーツ
用品 | 半導体素材



健康医薬



木質資源



パルプ



新素材



機能性添加剤 | 化粧品

リサイクル
技術



紙・板紙



バイオ
リファイナリー



バイオ
プラスチック



ジェット燃料 | 自動車素材

地域社会との共生
持続可能な
サプライチェーンの
確立

人権尊重と人材育成、
社員への思いやり
公正で透明性の
高い経営

気候変動への対応
循環型社会の実現
森林保全と
生物多様性の維持

社会課題解決に向けたマテリアリティ

価値創造を支えるガバナンス >> P87-108

事業成果
>> P30

経済的価値

大王グループの
業績向上

[2026年度目標]

- 売上高 7,400億円
- 営業利益率 4.1%
- ROE 4.5%
- ネットD/Eレシオ 1.2倍以下
- 格付符号/方向性(R&I) A-/安定的

[2035年度目標]

- 売上高 1兆2,000億円
- 営業利益率 10%

社会的価値

マテリアリティの解決
「3つの生きる」の達成

DAIO やさしい未来 2030 >> P57-58
マテリアリティに対する取り組みと
SDGs貢献 >> P59-60



衛生

貧困問題が解決し
人々の生活水準が
向上、健康的な生活が
保障されている



人生

世界中の人々が
幸福度の高い
心豊かな生活を
送っている



再生


多様な生物が
共生・繁栄する
自然豊かな地球が
再生されている

「やさしい未来」の実現

価値創造のインパクト







投入資本(インプット)

[大王グループの取り組み]

 財務資本 <ul style="list-style-type: none"> ●株主資本 2,071億円 ●純有利子負債 3,422億円 	<ul style="list-style-type: none"> ●効率的な資源配分 <ul style="list-style-type: none"> — 新規事業・研究開発への投資 ▶▶ P51-54 — 株主への還元
 製造資本 <ul style="list-style-type: none"> ●三島工場(世界最大級の純臨海工場) ●設備投資額 346億円 ●拠点数 国内 22拠点、海外 8カ国9拠点*1 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境負荷の低い設備・燃料への転換 ●安全・品質に関する教育・啓発活動
 自然資本 <ul style="list-style-type: none"> ●山林所有面積 約59,000ha ●うち天然林の面積 約28,000ha ●水資源管理: 取水量 184,093千㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境に配慮した、持続可能な事業活動 ●森林保全・生物多様性の維持 ▶▶ P86 ●水の有効利用の取り組み ▶▶ P72
 人的資本 <ul style="list-style-type: none"> ●連結従業員数 12,191人 ●教育研修費 6,467万円(単体) ●多様で柔軟な働き方を実現する制度整備 ●成長を促進する評価制度の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ●人権尊重 ●個の成長支援 ●ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進 ●評価・処遇制度改定 ●健康経営の推進 ●安全衛生活動 ▶▶ P70
 知的資本 <ul style="list-style-type: none"> ●知財保有権利 (国内/海外)*2*3 <ul style="list-style-type: none"> 特許権 2,048件/1,933件 意匠権 409件/1,201件 商標権 1,112件/1,379件 ●グループ内に蓄積されたノウハウ 	<ul style="list-style-type: none"> ●イノベーション推進、権利活用 ●将来技術の創出・商品開発 知的資本 ▶▶ P55-56
 社会・関係資本 <ul style="list-style-type: none"> ●四国中央市カーボンニュートラル協議会 ●アテントマイスター・プロ資格認定者数 10,959人 ●Web公式会員プログラム「クラブエリエール」*5 <ul style="list-style-type: none"> 会員数 76万人 ●DAIO Partner Ship(卸商・古紙問屋・国内トップサプライヤーの会) ●社会貢献活動支出額 4,180万円 ●スポーツ支援活動「Teamエリエール」 ●SDGs調達ガイドラインに基づくアンケート対象社数 535社 	<ul style="list-style-type: none"> ●持続可能な原材料への転換 ●SDGs調達(CSR調達) ▶▶ P62 ●「地域包括ケアシステム」の推進 ▶▶ P61-62 ●スポーツ大会の運営・協賛

事業成果(アウトプット)

事業活動を通じた価値創造

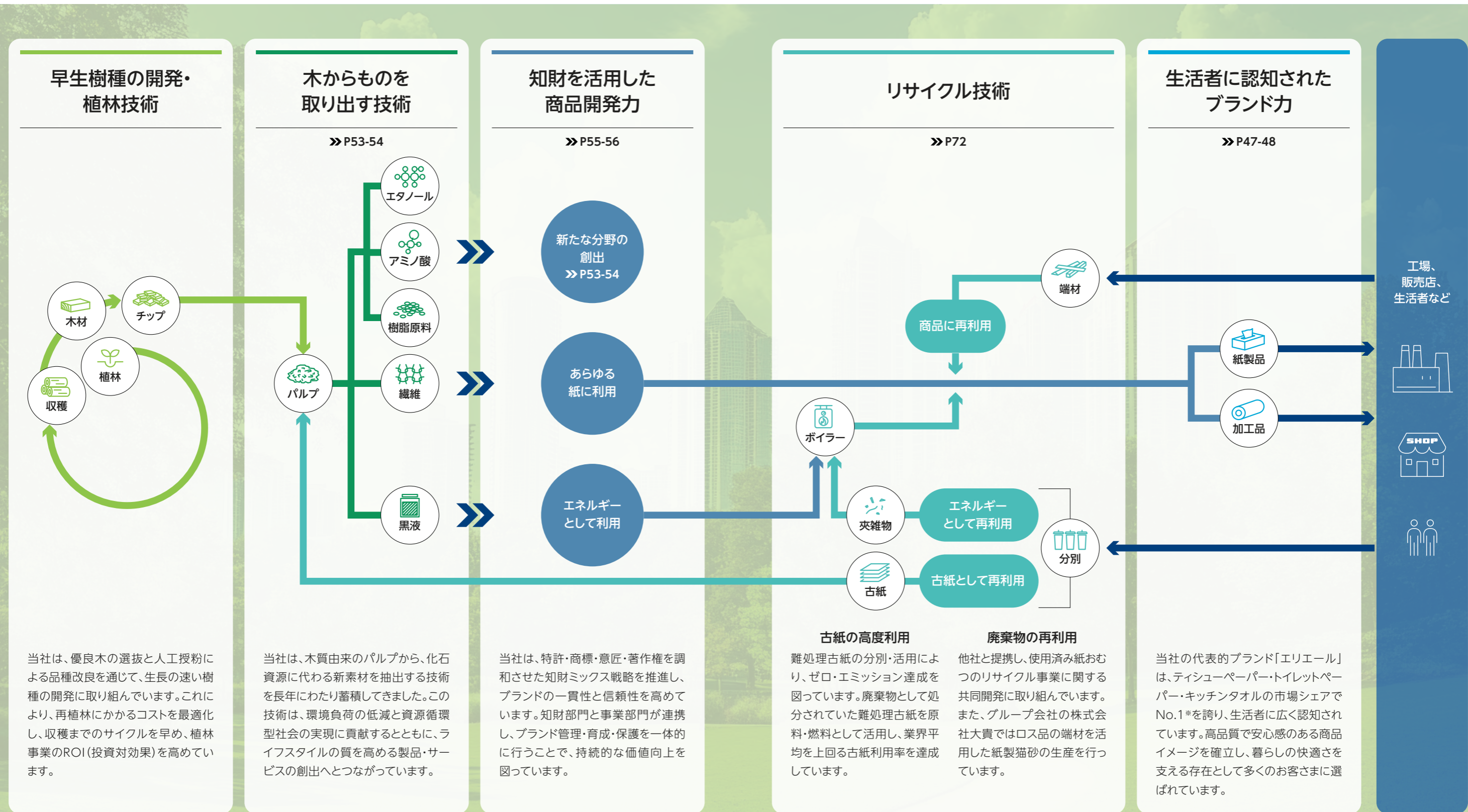
 <ul style="list-style-type: none"> ●売上高 6,689億円 ●営業利益 98億円 ●親会社株主に帰属する当期純利益 △112億円 ●格付(JCR・R&I) A-
 <ul style="list-style-type: none"> ●三島工場 生産量 約210万トン/年 ●生産効率・品質の改善、生産コストの削減 ●GHG排出量 2023年度 3,594千トン/年 → 2024年度 3,640千トン/年 ●GHG排出量削減率 18.2%(2013年度比)
 <ul style="list-style-type: none"> ●希少動植物の保護 ●水資源管理 排水量 178,807千㎡/年、実質の水消費量 5,285千㎡/年 COD原単位 △5.9%(前年比)
 <ul style="list-style-type: none"> ●従業員エンゲージメント向上 ●ワークエンゲージメント向上 ●「健康経営優良法人(大規模法人部門(ホワイト500))」8年連続認定 ●「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」初認定 ●D&I AWARD 2024「ベストワークプレイス」企業に認定 ●女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」2つ星取得 ●「ハタラクエール2025」で「福利厚生推進法人」受賞
 <ul style="list-style-type: none"> ●知的財産権出願(国内/海外)*3*4 <ul style="list-style-type: none"> 特許権 175件/50件 意匠権 60件/256件 商標権 73件/223件
 <ul style="list-style-type: none"> ●衛生用紙 メーカー別売上No.1*6 ●多くの生活者に支持されるブランド「エリエール」 ●紙関連の製造品出荷額等*7において四国中央市が19年連続日本一 ●スポーツを通じた女性活躍推進 <ul style="list-style-type: none"> 「大王製紙エリエール レディスオープン」1982年より通算43回開催 ●「EcoVadis」サステナビリティ評価 シルバーメダル2年連続獲得 ●「スポーツエールカンパニー2025」に認定 ●FTSE、SOMPOなど国内外のさまざまなインデックスの構成銘柄に選定 ▶▶ P114

*1 2025年8月31日時点
 *2 2025年3月末時点の国内・外国合計の知財保有権利数。
 *3 知財保有権利、知的財産権出願の件数は、社内集計基準の変更等により、過去に公表した数値と一致しない可能性があります。
 *4 2022年度の出願件数。特許の外国出願件数はPCT出願件数。

*5 コミュニケーションを通じてエリエール商品の理解を深めていただくこと、生活者の声を商品の品質向上や開発に役立てることを目的としたWeb公式会員プログラム。
 *6 出典:インテージSRI+ 2024年4月~2025年3月メーカー別累計販売金額(ティッシュペーパー、トイレペーパー、キッチンタオル)
 *7 総務省・経済産業省「2023年経済構造実態調査(製造業事業所調査)」参照 市町村別順位において四国中央市が19年連続1位を獲得

大王グループの強み

大王グループは、環境保全と事業成長を両立させることと、知的財産を活用した商品開発を行うことで、ビジネスの持続可能性と競争優位性を高めています。



※出典：インテージSRI+ 2024年4月～2025年3月メーカー別累計販売金額(ティシューペーパー、トイレtpペーパー、キッチンタオル)

大王グループのマテリアリティ

大王グループでは、社会の動向をグローバルな視点でとらえるとともに、中長期的な企業価値の向上に向けた重要課題を現状視点から検証する一方、将来のありたい姿を実現するための未来に立脚した視点からも検証。重要かつ優先的に取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を以下のようなプロセスで特定しています。

STEP 1 当社グループを取り巻く環境および、社会課題を把握し、企業価値に影響を与えると思われる項目の抽出・整理

(1)ステークホルダーの関心ごと

ステークホルダーとの対話を通じて、当社グループの事業や社会課題などで関心の強いと思われる項目を把握しました。

(2)当社グループが認識する重要項目

「対応しておかないと、将来企業価値に影響を与える」項目について、リスク・機会から抽出しました。

(3)ありたい姿(未来像)を実現するための実施項目

将来の「ありたい姿」、および「ありたい姿」が実現したときの未来像を描き、それらを実現するために、何をすべきか、何ができるのかをSDGsのゴールごとに抽出し、整理しました。

STEP 2 重要テーマの分析・整理

(1)事業戦略

STEP1で整理した項目のうち、ステークホルダーの関心ごと、および当社グループが認識する重要項目のなかから、「事業戦略」に関する項目は何か、という視点で、分析・整理しました。

(2)社会課題

STEP1で整理した項目のうち、ステークホルダーの関心ごと、および当社グループが認識する重要項目のなかから、世界の動きや社会情勢を考慮して、今、取り組まなければ、企業価値に影響を与えると思われる「社会課題」に関する事項を、GRIスタンダードやESG評価機関のキーイシュー等と照合して、分析・整理しました。

STEP 3 マテリアリティ(重要課題)の特定

(1)ありたい姿(未来像)を実現するための実施項目との照合

STEP2で整理した重要テーマを、STEP1-(3)で整理したありたい姿(未来像)を実現するための実施項目と照合し、双方に共通しているテーマを重要課題候補として整理しました。

(2)重要会議で議論・決定

重要課題候補に「現時点でやるべき項目は何か」という概念を加えた上で、サステナビリティ委員会や経営会議・取締役会で議論を重ね「マテリアリティ(重要課題)」として特定しました。

「ステークホルダーの関心ごと」

対話を通じて把握し整理

- 環境配慮型商品の販売状況・将来のポテンシャル
- グローバル展開のリスク・進捗状況
- セルロースナノファイバー(CNF)の先端技術や用途開発の進捗状況
- 地域社会との関係(社会貢献活動など)
- SDGs調達(CSR調達)・サプライチェーン管理
- ダイバーシティの進捗状況や人財育成
- 強固なガバナンス体制の構築・リスク管理
- 脱炭素等の気候変動への対応や古紙利用・水資源管理
- 生物の多様性や森林保全 など

「当社グループが認識する重要項目」

リスクと機会から抽出・分析し整理

- 国内の人口減少や紙の需要減少
- 約40億人と推定されるBOP(低所得)層の所得増加や生活改善
- 高機能な新素材の開発と実用化
- 地域社会との調和やBCPを含むサプライチェーン管理
- グローバル化対応の組織体制と経営人財の確保
- 人権尊重および社員とその家族の健康・安全衛生
- 社会的責任の国際的な要請への対応、リスク管理
- 2050年度までのGHG排出量の削減
- プラスチックの使用量削減や代替素材の開拓
- 産業廃棄物削減・再利用や水資源管理
- 持続可能な森林経営と生物多様性への配慮 など

現状から近い将来を見てのフォアキャスティング

マテリアリティ(重要課題)

1. 事業ポートフォリオの戦略的変革
2. グローバル展開の加速
3. 新規事業の創出
4. 地域社会との共生
5. 持続可能なサプライチェーンの確立
6. 人権尊重と人財育成、社員への思いやり
7. 公正で透明性の高い経営
8. 気候変動への対応
9. 循環型社会の実現
10. 森林保全と生物多様性の維持

ありたい姿からのバックキャスティング

ありたい姿(未来像)

ありたい姿が実現したときの未来像をSDGsの17のゴールごとに描き、当社が貢献できることを抽出・整理

経営理念

世界中の人々へ
やさしい未来をつむぐ



ありたい姿「やさしい未来」とは

やさしい未来

人に対するやさしさ		地球に対するやさしさ	
<p>貧困問題が解決し人々の生活水準が向上、「健康的な生活が保障されている」という未来</p> <p>●SDG1: 貧困問題が解決し人々の生活水準が向上</p> <p>●当社がグローバル化し、衛生用品や習慣の普及に尽力</p> <p>●更に地球上のさまざまな地域で当社が発展し、現地の雇用を創出</p>	<p>世界中の人々が幸福度の高い「心豊かな生活を送っている」という未来</p> <p>●SDG3: リタイア後の人生を楽しむ層が増加</p> <p>●健康寿命を伸ばす商品・サービスの提供</p>	<p>多様な生物が共生・繁栄する「自然豊かな地球が再生されている」という未来</p> <p>●SDG13: 世界中がグリーンエネルギーを利用</p> <p>●化石由来のエネルギーからグリーンエネルギーへの転換</p>	<p>SDG17: ボーダレスな自然共生社会が実現</p> <p>●行政や他企業と連携し、生物多様性を維持</p>
<p>第一次産業が発展し、飢餓が撲滅</p> <p>●SDG2: 第一次産業が発展し、飢餓が撲滅</p> <p>●RFIDソリューション提案で、複雑な在庫管理が容易になり食品ロスなどの課題を解決</p> <p>●植林技術を生産性向上につなげるサービスの提供</p> <p>●害虫等から果樹を守り生産性を上げる商品の提供</p>	<p>多くの女性が社会的に活躍</p> <p>●SDG5: 多くの女性が社会的に活躍</p> <p>●女性社員がキャリア形成できるしくみの構築</p> <p>●女性の活躍と自立の機会・サービスの提供</p>	<p>自治体単位でのGHG排出ゼロ実現</p> <p>●SDG11: 自治体単位でのGHG排出ゼロ実現</p> <p>●自治体や周辺企業と連携したGHG排出ゼロの施策を実行</p>	<p>SDG12: 廃棄物が減少し、循環型社会が実現</p> <p>●多種多様な廃棄物に対応する選別機の開発・販売</p> <p>●廃棄時に紙とプラスチックを分別するシステムの開発・販売</p>
<p>感染症が制圧</p> <p>●SDG3: 感染症が制圧</p> <p>●衛生用品や習慣を普及させ、感染症を予防・抑制</p>	<p>世界中で教育の機会均等が実現</p> <p>●SDG4: 世界中で教育の機会均等が実現</p> <p>●職業訓練支援や衛生用品の作り方の啓発</p> <p>●紙に書いて覚える文化を普及させる</p>	<p>サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルが実現</p> <p>●SDG13: サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルが実現</p> <p>●燃料転換・植林などを駆使し、GHG排出ゼロ企業となる</p>	<p>SDG14: プラスチックから天然由来素材への転換が進む</p> <p>●SDG14: プラスチックから天然由来素材への転換が進む</p> <p>●プラスチックに代わる素材を開発・販売</p> <p>●非化石由来の素材の吸収体商品の開発</p>
<p>多くの女性が社会的に活躍</p> <p>●SDG5: 多くの女性が社会的に活躍</p> <p>●女性に対する衛生面からの健康維持支援</p> <p>●衛生・性に関する知識の教育</p>	<p>脆弱層に配慮した安心して暮らせる街が誕生</p> <p>●SDG11: 脆弱層に配慮した安心して暮らせる街が誕生</p> <p>●「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」がワンストップで提供されるしくみの構築</p>	<p>SDG15: 自然豊かな地球が再生され、森林面積が復元</p> <p>●SDG15: 自然豊かな地球が再生され、森林面積が復元</p> <p>●木材の利用価値を上げ、植林事業を発展させる</p> <p>●植林技術を活用したソリューション</p>	<p>SDG17: ボーダレスな福祉社会が実現</p> <p>●SDG17: ボーダレスな福祉社会が実現</p> <p>●行政や他企業と連携したQOL向上の取り組みを強化</p>
<p>世界中で衛生的なトイレが普及</p> <p>●SDG6: 世界中で衛生的なトイレが普及</p> <p>●当社がグローバル化し、衛生用紙を使用する習慣を普及させる</p>	<p>誰もが、平等に紙や衛生用品を購入(利用)</p> <p>●SDG10: 誰もが、平等に紙や衛生用品を購入(利用)</p> <p>●紙や衛生用品を使用する習慣を普及させる</p>	<p>SDG16: 自然豊かな地球が再生され、森林面積が復元</p> <p>●SDG16: 自然豊かな地球が再生され、森林面積が復元</p> <p>●木材の利用価値を上げ、植林事業を発展させる</p> <p>●植林技術を活用したソリューション</p>	<p>SDG17: ボーダレスな福祉社会が実現</p> <p>●SDG17: ボーダレスな福祉社会が実現</p> <p>●行政や他企業と連携したQOL向上の取り組みを強化</p>
<p>廃棄物が減少し、循環型社会が実現</p> <p>●SDG12: 廃棄物が減少し、循環型社会が実現</p> <p>●進出国での古紙などの回収システムの構築</p>	<p>全ての紛争が終わり、紙や衛生用品の利用者が増加</p> <p>●SDG16: 全ての紛争が終わり、紙や衛生用品の利用者が増加</p> <p>●当社がグローバル化し、衛生用品や習慣の普及に尽力</p> <p>●CSR調達をサプライチェーン全体で実現</p>	<p>SDG15: 自然豊かな地球が再生され、森林面積が復元</p> <p>●SDG15: 自然豊かな地球が再生され、森林面積が復元</p> <p>●木材の利用価値を上げ、植林事業を発展させる</p> <p>●植林技術を活用したソリューション</p>	<p>SDG17: ボーダレスな福祉社会が実現</p> <p>●SDG17: ボーダレスな福祉社会が実現</p> <p>●行政や他企業と連携したQOL向上の取り組みを強化</p>